



The service club to the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町
 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2022年9月会報 第405号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP)

K.C. Samuel(インド)

主 題 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT

スローガン 「自己を超えて、変化を起こそう」 BEYOND SELF and BE THE CHANGE

アジア太平洋地域会長(AP) Shen Chi-Ming (台湾)

主 題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era

スローガン 「今すぐ実行を」 Doing It Right Now

西日本区理事(RD) 田上正(熊本むさし)

主 題 「原点を知り将来に生かす」 Know the origin and utilize it in the future!

スローガン 「立ち上がれワイズモットーと共に！」Stand up Y's Men with our Motto!

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題 困難な時にこそYMCAと共に進もう」

宝塚クラブ会長 小林康男

主 題 みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

今月のテーマ :EMC YES

未来につながる EMC 活動
 新規クラブ設立の為に YES 献金100%を！

国際・交流事業主任
 小田 哲也 (福岡中央クラブ)

2022年9月例会

日 時 : 2022年9月14日(水)18:30

場 所 : 宝塚市立西公民館

会 費 : 1500 円

ドライバー 福田宏子 若林成幸

開会点鐘 小林康男会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 加藤光信

祈 禱 多胡葉子

ゲスト・ビジター紹介 会 長

会 食 有

お 話 溝口 誠 氏

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

閉会点鐘 小林康男会長

2022~2023 役員	会長 小林康男
	副会長 郡家 学
8 月 実 績	書記 武田寿子
	会計 郡家 学
	会計監査 吉田 明 加藤光信
	担当主事 橋本 唯
	メネット連絡 小林貴美子
	直前会長 福田宏子
	9月 誕生日
8 月 実 績	例会出席者数 17名(ズーム名) 在籍会員数 20名 出席会員数 11名(ズーム名) 出席率 55% メイクアップ(内数) 1名 メネット・コメント・孫メット 1名(ズーム名) ゲスト・ビジター 4名(ズーム名) 例会充足率 85% アソシエイト会員 1名(ズーム名)
	ここにこBOX 6,000円 累 計 9,200円 ファンド(豚 肉,他) 8,500円 累 計 20,000円 (真菰茶) 12,000円 累 計 12,000円 ファンド合計 41,200円

聖 句

「何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。」

(箴言 4:23)

随 想

この夏は元首相が演説中に銃撃されて死亡するというショッキングな事件が起きました。犯人の動機は、母親が旧統一教会の信者なったことで家庭が破壊された恨みから、この宗教団体と関係があると思った元首相に対して犯行を起したとのことでした。報道によれば彼の家族は実際に大きな被害を受けており、彼の兄は自殺しているそうです。

一方、元首相が祖父の代からこの団体と関係があったのも事実で、その関連からこの団体と政治家との繋がりが連日マスコミ等で報じられています。

彼の母親は一時期この団体から離れていたようですが、最近教祖の妻が来日するようになってから再び活動を始めた。それを見て絶望した犯人は、もはやこの教祖の妻を殺害するしかないと思い詰めた。

ただこの教祖の妻を狙ってもできないから、ターゲットを元首相に変更して殺害するというのはどう見ても論理が破綻しています。彼は事前に「元首相を殺した後の政治的影響や結果を考える余裕は今の自分にはありません」と書いており、追い詰められた心理状態だったことを思わせます。ただどんな心理状態であれ人を銃撃して殺害していいわけではない。この一番根本のところがおかしくなっています。これは言わば、「心が壊れた」状態だと思えます。

彼の心は彼の家族をめぐって起こった様々な過酷な出来事によって破壊されてしまった。その破壊された心と論理で今回のような事件を起こしてしまった…。

あるジャーナリストが、彼が今回こうした凶行を決意できた背景には、昨今の世界状況も関係があるのではないかと書いていました。

2月以降の、大国の隣国への暴力的な軍事侵攻が連日当たり前のように報道される情勢です。暴力は通用する。そういう恐ろしいメッセージが今世界中にまき散らされており、それが彼にとって最後の引き金になったのではないかと。そんな無言のメッセージが、壊れた心を抱えた犯人の心をつらえたのかも知れません。

最近なぜか、若い人が「人を殺せば死刑になれると思った」と言って通りすがりの人を襲う事件が複数発生しています。こういう言わば心が壊れた人が他にもいることを示しているのではないのでしょうか。

今の世の中、戦争であれカルト宗教であれ、人々の心を破壊するものが溢れています。こうしたものに抗して、何とか自らと人々の「心を守る」。

何より大切な、喫緊のつとめだと思います。

金田俊郎

8 月例会報告

今回の8月例会はいつもと違い3年ぶりの納涼例会&3年間の歴代会長3名若林・多胡・福田各氏のご苦勞さん会となりました。会員出席10名、メネット1名、ゲスト4名、アソシエイト1名、総勢16名でした。

場所は「がんこ宝塚苑」にての会食となりました。

司会進行は鯖尻氏で開会点鐘は浴衣姿お似合いの小林ご夫妻いやいや小林会長の納涼らしく風鈴点鐘で粋に始まりました。そして、ワイズソング・聖書朗読・祈禱・ゲスト・ビジター紹介と続けました。

当宝塚クラブの若林六甲部部長の乾杯の音頭で午後6時20分から会食となりました。動きもあまりなく各自着席場所でコロナ慣れの食事時間を過ごされたと思われました。

午後7時20分からゲストスピーカーの柳 敏晴様よりデンマークでのYMCA世界大会参加とGive CLUBでのお話や22'YMCA世界会議のテーマ「ignite」発火の意図するところ・LEGO ハウスの昼食会でのこと・宝塚ワイズのバナーがデンマークにあり柳氏が、交換バナーを託され小林会長に手渡されたこと・YMCAの THE Reason why の絵本・キュービクのようなYMCA活用紹介玩具等いろいろ現物を拝見させていただきました。最後に次世代の人たちへ、次回は2026年カナダ トロントで!!のメッセージで午後7時40分終わりました。

映像や日本人13名の参加者、山田公平マリン夫妻ご活躍の話も尽きないのですがまた機会があり聞きたいと思われました。続いて石田交流委員長よりシニアキャンプ・ローンボウル・中部部会・金沢クラブ周年行事の参加希望受付、若林氏よりYYフォーラム・ベガホール出演・など全て9月の活動紹介が有りました。それから、大阪土佐堀クラブの岡野様より8月20日奥田様偲ぶ会のご案内がありました。

続いてお誕生日お祝いを行いました。そして歴代会長へ花束贈呈その後、最後は小林会長閉会風鈴点鐘で午後8時、無事終了となりました。

ご苦勞さん会ならば各氏のひと声の時間が有っても良かったかなと思われました。しかし、中身の濃い例会だったと思われました。



[前、前々、前々々、会長ご苦労さん会]に思う

8月10日(水)、久々の「会長ご苦労さん会」が、「がんこ 宝塚苑」で開催された。数年前より続く殺伐としたコロナ禍の状況下、従来の例会活動が停止または禁止状態となり、何となく心底から楽しむというのに一種の罪悪感を覚える、日々が続いていたような気がするの、私だけなのだろうか？

鮮やかな緑が映える日本庭園を横目に、落ち着いた日本間での会場は、浴衣やアロハ姿でのリラックスした雰囲気での例会となった。

スピーカーとして、神戸西クラブ:元神戸YMCA 主事、4年に一度開催されるYMCA世界大会、今春、デンマーク:オーフスでの開催に出席された柳 敏晴氏をお迎えして、お話を伺った。まだまだ、コロナ状況が収束されぬなか、交通も平常とは異なり、大会開催地:オーフスに到着するのに、予想以上のご苦労をされたとのことであった。

当大会には、近隣のヨーロッパの国々から、まさに6ヶ月もの戦下状態にある、ロシアとウクライナの方々が楽しそうに交流をされておられるのは、微笑ましい光景であり、なぜ戦争をしなければならないのかが、不思議に思えたとのこと。参加者とは結構、体育関係についての話に花が咲いたとのこと。

当大会で我IBCのギブクラブの会長にお目にかかれて、ギブクラブのバナーを託されたこと！嬉しい、知らせであった！ギブクラブの会長と柳氏がギブクラブバナーを手になさった写真を眼にした時、過去数度、ギブクラブを訪問した際の様々な光景が、走馬灯のように頭の中を駆け巡った。彼らは、地域社会のみならず、STEPプログラム、難民の方々へのデンマーク語の指導、施設の提供、生活支援等、その多大な奉仕精神には頭の下がる思いがした。宝塚クラブ25周年の際には、3名の仲間がお祝いに駆け付けて下さり、まさにこの日本間の会場で、日本料理に舌鼓をしながら、楽しい話に花が咲いたのを思い出した。

その中のお一人、ヤーンさん、木工細工がお得意で、我宝塚クラブのメンバー、一人一人にお得意の心こもった小物をクリスマスプレゼントに送ってくださった彼も昨年、神様の下に召されられたのは、我々の大なる哀しみの一つである。また六甲部でも最近、河合睦文メン、城純一メン、大塚章信メン、極最近、山口政紀メンが神のもとに旅立たれた。

きっと、天国で新しいワイズメンズクラブを設立されておられるのでは??という思いが横切った・・・

大先輩方々の教えを大切にしつつ、地上でのなせる業に力を注ぎたく思うと同時に、天上での彼らの平安を祈るばかりである。



福田宏子

8月第2例会報告

日 時 : 2022 年 8 月 17 日 (水) 18:30~20:30

場 所 : 宝塚西公民館

出席者 : 若林、青柳、石田、郡家、小林、多胡、長尾、福田h

議 題

1. 例会の運営

- ・9 月 14 日 (水) 講師 溝口 誠氏(京都トゥービクラブ) テーマ「隠れキリシタン」

謝礼: ¥10,000 開会 18:30 宝塚西公民館 会費: ¥1,500(食事あり)

- ・10 月 12 日 (水) 講師 藪田 恵氏 「チェアエクササイズ」

開会 18:30 宝塚西公民館 会費: ¥1,500(食事あり)

- ・11 月 16 日 (水) 『思い出のランドセルギフトプロジェクト』(講師は ZOOM で参加)

講師 櫻井啓子さん(東京むかでクラブメネット) 公益財団法人ジョイセフ理事

開会 18:30 宝塚西公民館 会費: ¥1,500(食事あり) ?

* 石田: 宝塚クラブでも取組ができるか大野智恵直前部長に意見を伺う

* 8/24 神戸ポートクラブ、部長訪問の際に詳細を聞く

- ・クリスマス合同例会について

土佐堀クラブより合同のオファーあり 12 月 10 日 (土) 午後 大阪 YMCA チャペル
前もって、土佐堀クラブと ZOOM 会議で打ち合わせる

2. 各事業報告

① 六甲部:

- ・CS 事例集

・東西日本区の範囲: 沖縄クラブが誕生した際に、東西日本区のどちらに所属するのか?

② Y サ・ユース:

- ・YYY フォーラム (9/10 土) 参加者: 若林、多胡、武田

・余島シニアキャンプ 9 月 17 日 (土) ~ 19 日 (月) 参加者: 若林、武田、多胡、福田h
余島シニアキャンプ及び One Camp にそれぞれ支援金 ¥20,000, 支払い済

③ 国際・交流

- ・ローンボール大会 9 月 11 日 (日) 参加者なし

・金沢クラブ 75 周年記念例会 9 月 24 日 (土) 石田メン

1. ジャがいも事業: 10/01 阪神自立の家に搬入、申込締め切り: 9/07

諸費の値上がりにつき、ジャガイモ: ¥2,500, 三種混合: ¥3,300

2. メネット委員(大野智恵)

・ベルマーク ・インクカートリッジ

3. ブリテン(長尾):

4. YMCA 報告(橋本):

5. その他

書記: 福田宏子

スピーカープロフィール

溝口 誠 氏

1969 年 12 月 2 日生、長崎県長崎市出身。
カトリック長崎大司教区 中町教会所属。洗礼名 ラウレンシオ。
1988 年の大学進学から現在まで京都市在住。
一級建築士、有限会社ワイズ建築設計室 取締役。
2010 年、京都トゥービーワイズメンズクラブ入会。
2018-19 年期、クラブ会長。
2021 年、第 24 回西日本区大会実行委員長。
現在、(仮称)沖縄クラブ設立準備委員長。



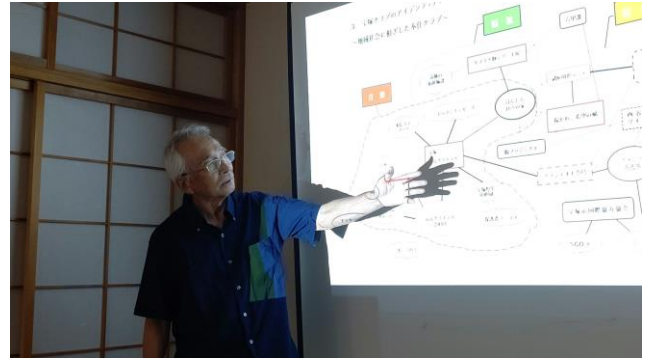
六甲部部長公式訪

部長訪問のトップは、7/20 芦屋クラブのキックオフ例会。多胡書記とともに竹園ホテルでの久々の会合に出席した。大岩会長の点鐘など一連の開会プログラムが進み会食へ。部長挨拶を行った後、島田 恒ワイズのメンバースピーチ「私たちは今どこにいるのか」を拝聴。コロナパンデミック・異常気象・ロシアのウクライナの地政学的リスクなど、今日的なテーマを分かりやすく解説された。質疑応答の中にもメンバーの識見の高さを感じたひとときであった。大岩会長にはデジタル小委員会の運営責任も担っていただいているので今期の活動に期待するところである。

8/9 神戸クラブの納涼例会がミュンヘン神戸で開催され 20 数名のメン・メネットが和気あいあいとした雰囲気の中で行われた。コロナ自粛のため一堂に会しての食事会は 3 年前のクラブ創設 90 周年記念例会以来だという。神戸クラブの面々はYMCAの諸事業に奉仕されている方やワイズのLD教育などに関わっている方がおられ伝統と人材豊かなクラブとの印象だが、男性陣に混じってお元気なメネット会の皆さんとも話が弾みお徳感のある訪問となった。



8/23 神戸西クラブ例会に多胡書記と共に参加させていただいた。会場の細田会館は 3 度目の訪れだったが出席者と名刺を交換するうちに、私の小学校時代の同窓の親戚筋が居られることが分かり不思議な縁を思いと親近感が増した。部長卓話を要請されていたので「会館を持たないクラブの課題と展望」と題して宝塚クラブの「CS活動 20 年の軌跡」をお話しさせていただいた。



神戸ポートクラブ訪問は当初 7/27 を予定していたが、私の体調不良のため急遽延期し、8/24 に神戸 YMCA 会館で開催された例会に若林部長、多胡書記の 2 名で参加した。対面には 14 人のほか ZOOM で東京町田クラブ 4 人、富山クラブ 1 人の参加と学園都市クラブ 1 人、ポートクラブ 3 人があり、クラブの人脈の広さを感じることができた。この日のゲストスピーカーは大阪なかのしまクラブの吉田由美ワイズ。彼女の職場や業界でのロボット産業の発展を分かりやすく解説していただき、普段、目にしない産業ロボットの活躍に興味深く拝聴することができた。その後、六甲部部長にお役目が回ってきて、六甲部メネット事業のベルマーク収集協力に関し Wap コーポレーションへ感謝状を贈呈させて戴いた。また、神戸ポートクラブの EMC 活動は着実に成果をあげており、幅広い世代の方の入会があつてクラブ運営について見習うところが多いと感じた。



神戸西クラブに部長訪問同伴して

8 月 23 日部長訪問として神戸西クラブの 8 月例会に若林部長と 2 人、参加。参加者はメン 9 人と我々 2 人の 11 人。柳会長の開会点鐘。その前に不思議なエピソードが点鐘用の鐘に関して披露された。鐘は不思議な縁で神戸西クラブへ。今日初めて柳会長が点鐘。



メンバーの阪本ワイズがクラブに鐘がないことに気づき、ネットオークションのメルカリを検索。なんとワイズの鐘がオークションにかけられていた。すぐに申し込み落札。今日の例会の点鐘に間に合いクラブとして初めて開会点鐘の鐘が鳴ったとのこと。例会のプログラムが進められ、食事の後、今日のスピーカーは部長の若林ワイズ。与えられた題が「YMCA 会館を持たないワイズ活動」の演題で宝塚クラブの長年にわたる CS 活動の市民クリスマス、きらりとか輝くアート展、揚がれ！希望の凧！の取り組みを図にして説明。3つの活動は全て繋がりを持ち特に自立の家が核となつての活動の展開が改めて認識することになった。とてもわかりやすい説明とともに西クラブの方々に少なからず刺激になったのではと思われた。若い二人のメンバーも増え西クラブの今後の意気込みも感じられた例会だった。

六甲部書記 多胡葉子

神戸ポートクラブに部長訪問同伴して

8月24日に神戸YMCA会館で開催された神戸ポートクラブに部長訪問として若林部長、多胡書記の2名で参加。ポートクラブは対面式とオンラインでの両方の例会形式。対面には我々を含んで14人の参加。ZOOMでの参加はDBCの東京町田クラブから4人、富山クラブ1人、学園都市クラブ1人、ポートクラブ3人と全員で23人の出席。中山会長の点鐘で始まり、まずZoomでの参加者の紹介をきちんとされたことはとても良かったと思えた。宝塚クラブもその点は見習いたい。

スピーチは大阪なかの島クラブの吉田由美ワイズ。彼女の職場でのロボット産業の今後の発展をパワーポイントでプレゼン。とても興味深い話に豊かなひと時でした。

勿論六甲部部長としてのスピーチとポートが関わっておられるWapコーポレーションへの六甲部メネット事業の取り組みのベルマーク作業に関する件で感謝状の贈呈を部長として役目を果たされた。

誕生日のお祝いは奇しくも私が誕生月であったためにワイズのカップのプレゼントをいただいた。



六甲部書記 多胡葉子

他クラブ訪問記

大阪センテニアル・大阪西クラブ合同納涼例会に参加して

8月11日、ホテルクライトン新大阪でありました。

第一声「素晴らしいハイブリッド納涼例会」でした。大阪センテニアルクラブは毎年オンラインでハワイ・ヌアヌクラブとIBCの交流を大切にされています。

今年は大阪西クラブも参加して国内をはじめ海外からハワイ、香港、シンガポール、インド、フィリピンなど



沢山のクラブの参加がありました。そして海外のクラブのスピーチ、歌の披露、動画での活動報告がありました。そして日本側からはフラとバンド演奏のお返しがありました。ホテルの設備が良かったです。それに増して大阪センテニアルクラブのZOOM技術の進化に驚きました。しかし、宝塚クラブも負けていないと確信しました。

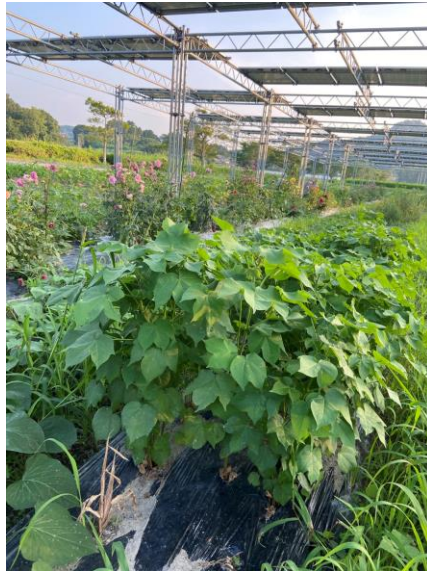
長尾 亘

CS 活動コーナー

西谷の畑の綿の成長

5月に西谷の畑(アソシエイトの矢部さんが西谷の畑の持ち主仲さんから借りておられる)の一部をワイズの畑として使いましょうとの提案を受けました。まずは自立の家の支援事業である

綿の栽培。丁度自立の家に集まってきた綿の種取りの奉仕をしていた関係でその種の一部を西谷の畑に植えることになりました。6月に植えた綿はずいぶん成長し、8月の初めに草取りに行った時には一輪華麗な花を咲かせていたのを発見してとても感激！初めての畑仕事。一畝植えたはずが三分の一になっていたのは？しかしながら鉢植えをしているのとはその成長には随分の差があることに気がきました。10月にはわずかでも収穫ができると楽しみです。西谷へ行くと真菰畑での楽しみも待っています。今回は流しソーメン体験でした。



多胡葉子

はんしん自立の家デイキャンプ開催

8月29日6時から、はんしん自立の家で開催されたキャンププログラムに、若林、小林夫妻、多胡、武田5人が参加しました。神戸YMCAの坂田所長と余島リーダー2名が、テントやカヌーまで設営してくだり、キャンプファイアーを囲んで、入居者の皆さんとともにゲームやキャンプソングを歌い楽しいひと時を過ごしました。コロナ下で、なかなか予定されたプログラムが実施できないときですが、久しぶりに歌声がピロティーいっぱい響き笑顔が広がりました。

武田寿子



奥田時夫さんを偲ぶ会報告

2021 年 8 月 7 日に天に召された大阪土佐堀クラブメンバー、奥田時夫さんを偲ぶ会が 8 月 20 日(土)13 時から、土佐堀の大阪 YMCA2 階ホールで持たれました。

奇しくも 10 年前の同じ日に旅立たれた同じクラブの親友、故只野準一ワイズのコメント、



現在は大阪土佐堀クラブ若手メンバーである只野未来ワイズが実行委員長となって

企画された会は奥田ワイズの人懐っこくて優しくっていつも明るいお人柄がとてよく分る心温まる素晴らしい時間でした。

奥田ワイズと言えばカメラ。関学フラサークル、マハロを例会に同行すると後から宅配で何百枚もの写真の箱が送られて来ました。その内 90%が関学生の写真。

8 月 31 日は奥田ワイズのお誕生日。翌日は私です。

乙女座バンザイっていつもメッセージを交換していました。去年から仲良しの只野さんと大好きなお酒を飲みながら、「今日のおやつ」って甘いものにも目がないグルメの日々を楽しんでらっしゃるのかなと、あの笑顔と共に思います。

石田由美子

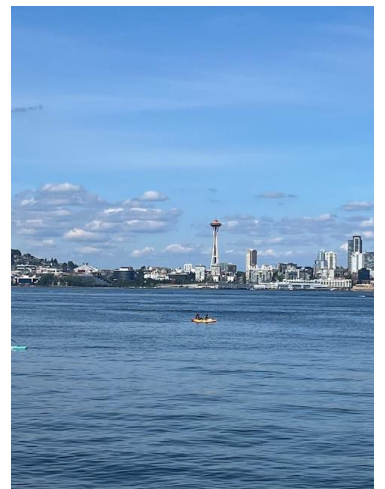
メンバーの近況報告

シアトル夏季留学再開

2年半のコロナブランクの後、6月23日懐かしいシータック空港に着いた。予想よりも肌寒く7月いっぱいにはジャケットを離せず、このまま夏が終わるのかと心配したが、8月には朝晩の涼しさと夕方から日没までの暑さの気温差は10度C以上にもなるほどだった。例年と違うことは、授業が Hybrid になり、多少聞き取りにくい部分が両者にあること。また、家と学校の往復だけで一度も downtown に行っていない。何故なら、コロナのためにダウンタウンはホームレスが多くなり、有名な店舗も永久閉店し以前のような活気ある街に戻るには時間がかかりそうだという。

しかし、最近行った友人によるとぼつぼつ戻りつつあるようだ。シアトルの秋は早く、既に風に秋を感じはじめ、残り2か月は独特の曇りがちの暗い日々が多くなる。シアトルを離れる寂しさと、日本が懐かしい想いと複雑な気持ちである。

杉谷和代



ひょうごフィールドパビリオンの展開について

風早 寿郎

8 月 19 日、宝塚市在住の有志が集まり、宝塚市を盛り上げる為に勉強会やまち歩きをされている「宝塚魅力都市創造会議」にお声掛け頂き、兵庫県の取り組みである「ひょうごフィールドパビリオン」の講演をさせて頂きました。

2025 年に開催される大阪・関西万博の賑わいを兵庫県にもという事で、兵庫県内に地域パビリオンを展開し、県内を回遊してもらおうという政策です。

大阪・関西万博は、大阪だけのものではなく、関西全域、ないしは日本全国に波及する国家プロジェクト。そのテーマは「命輝く未来社会のデザイン」であり、その内容は、空飛ぶクルマや人間洗濯機、バーチャルリアリティやアバターなどのメタバースなど、現在の社会課題を解決する為の新しい社会装置の実装実験で多岐に渡ります。

パビリオンは建物の中に集うイメージですが、フィールドパビリオンは地域に来てもらうので、地域の一人ひとりが担い手となり継続性が重視されます。身近な場所で展開するかもしれない「ひょうごフィールドパビリオン」。どうぞお楽しみに。



【YMCA ニュース】

この度、神戸 YMCA 専門学校が受けた学生生活支援金と支援物資の報告書を作成しました。2020 年に引き続き、昨年も多くの方々から学生へのご支援をいただきまして、感謝申し上げます。支援金だけでなく個人や企業様からは食料品や生理用品、マスクなどコロナ禍で困窮している学生に想いを寄せ多くの寄贈品をいただきました。学生も地域の皆様に支えられていると感じ、感謝の気持ちがいっぱい 1 年間を過ごすことができました。宝塚ワイズの皆さまからもご寄付いただきました。重ねてお礼申し上げます。

報告書は、会員の皆さまに神戸青年とともに発送、またホームページでも掲載しています。

(<https://www.kobeymca.org/data/pdf/202207.pdf>)

連絡担当 橋本 唯

編集後記

沢山の原稿ありがとうございます。何時も一通り目を通すのですが今回は人の目に頼ることにしました。

ブリテン 長尾 亘